

府内産木材の土木事業への活用に関する研究 (林業試験場)

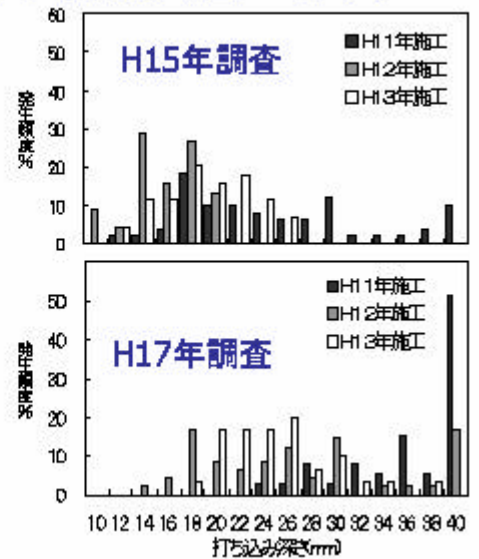
公共土木事業をはじめとする府内産木材の屋外利用を促進するには、木材の腐朽状況を現地で簡単に測定し、評価できる方法の確立が必要です。そこで、様々な機械を組み合わせ、腐朽状況を調査し、簡便で有効な評価方法を明らかにしました。

ピロディンによる木材耐久性の評価

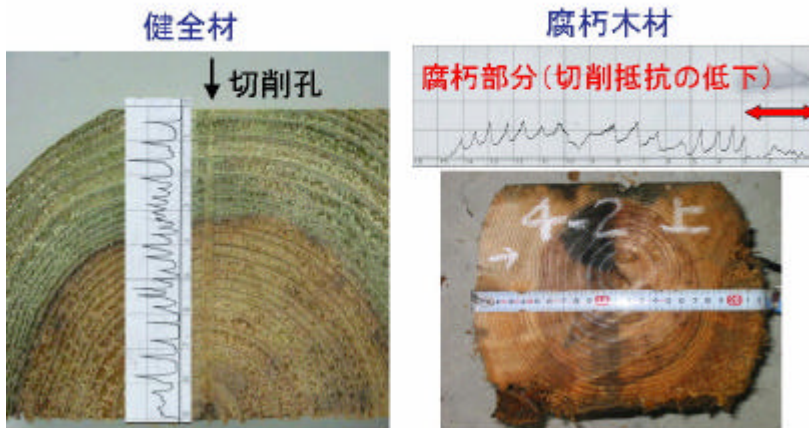
ピロディンは、操作が簡単で、木材表面の腐朽状況が測定値に反映されます。



木製治山ダム袖部材の調査結果



レジストグラフによる測定例



レジストグラフは、木材の表面から内部までの腐朽状況を可視化できます。

ピロディンで腐朽が疑われる場合、レジストグラフを用いることで、より詳細な腐朽状況の確認と評価が可能になります。

府内各地に設置された木製構造物の腐朽状況に関するデータを収集し、使用環境別の耐用年数等を明らかにすることにより、メンテナンスや木材利用の促進につなげます。